

日隅一雄さん死去

49歳

政府、東電追及の弁護士



昨年三月の東京電力福島第一原発事故直後から、政府や東電の責任を追及してきた元新聞記者で弁護士の日隅一雄（ひずみかずお）さんが十二日午後八時二十八分、入院先の東京都新宿区の東京女子医大病院で死去した。四十九歳。昨年五月、末期胆のうがんで余命半年と告知されていた。広島県出身。

京大卒業後、産経新聞記者を経て一九九八

年に弁護士登録。第二年に弁護士会に所属。NHK番組改変訴訟や沖縄返還密約情報開示訴訟などに携わる一方、弁護士やジャーナリストらで設立したインターネット市民メディア「NPJ（New People in Japan）」編集長を務めた。